

ゆめ
サロン便り
6.6
6.10
吉野町
内のサロン
No.198



梅雨つゆの天気
お久しぶりです
皆様お元気です。梅雨入りしたようですが五月二十日梅雨入りしたようですが毎日いい天気です水不足という声もちらほらあります。
あまり暑くなくてありませんよ。と勝手なことをいうのは私だけではないが、世界的に異常気象が続くようです。



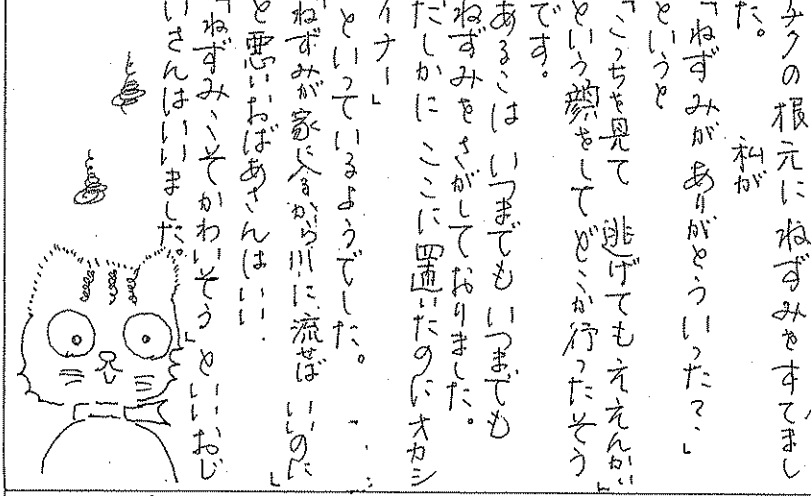
このところ肩こりがひどくて困っています。これは加齢からくるものなのか、それとも寝かたが悪いのがわからず、とりあえず椅子をかかんとさボルトンとにしサロン便りがすすんでいまして、そこでせんねん灸というものを買ってきて使ってみました。



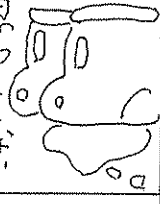
ペットのあまごです。
そのようなくちで、あまごも近況をお伝えしていませんのでお許し下さい。



いわけかどさえ感じる日の昼ま
あまごがねずみをつれて帰って廊下にはおすね、ねずみはす早やく走ってしまいました。そして玄関マットの横に置いておいた物を置いた。その中にねずみが入って、袋がモゾク動きまわった。
ねずみがあるがどういった？
「ごつちを見て逃げてもええんか」という夢を見てどこか行ったそうです。
ある日はいつまでもいつまでもねずみまがしておりました。
たしかにここに置いたのにおかしイナール

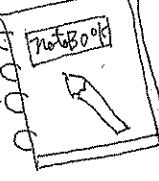


受診日
このところ体調が思わしくないので先生に相談してみました。
先生、おなかがよくして体が重いので先生に、このおなかの空気を抜いて下さい、といったら呆れた顔をされ、それは空気がいやらしく、よくするとはでんまといわれ、また、つまり脂肪らしいです。パソコンの画像をじっと見つめておられる先生に、お忙しいのです、と先生と、言う私でした。



年をとるといふことはいろいろな症状が出てくるのでしよう。先生は、おそがしいのに、胸の音をきいたり、肌をみたりして下さる感謝しながら、診察室をあとにしました。
肩こりも、うくに、なり、そうすると又、ペンも、ちたくなり、はじめました。もう背中に煙草生活から離れられそうです。

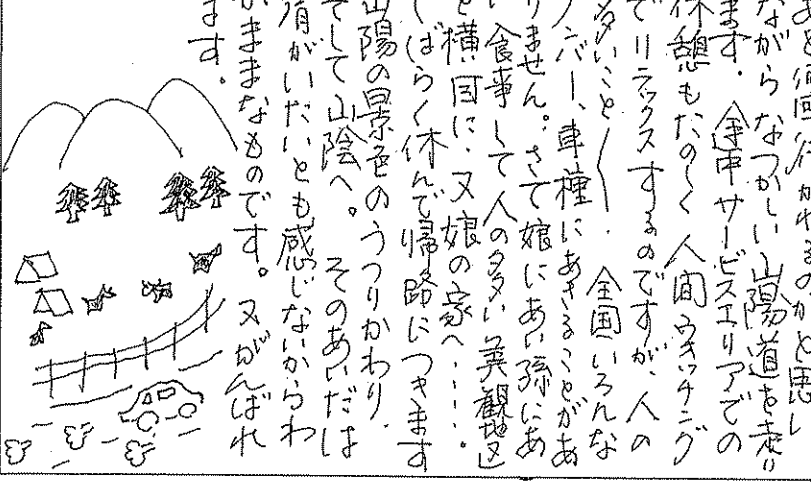
さびびの大切
体性幹細胞を使った再生医療が注目されはじめたというニュースを見ました。今日も医者さんが言われたことを思い出します。二十、三十、三十五、その区別ではない、常に新しいことも、ほふが、日々勉強だ、とおっしゃったので、もう一度勉強させていただきます。私も日々勉強しなさい、けな



いと思いたが、つて何を勉強しようかと、とまどいますが、りあえすめいあかけな、おぼあちゃんをめぐります。
あたりまえです、ね。



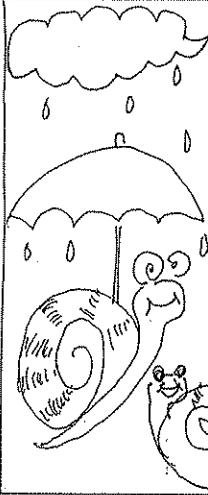
六月九日
久しぶりに倉敷に行きました。あと何回行かれるのか、思いながら、ついでに山陽道を走ります。金甲サービステリアでの休憩も、たのしく、人周りで、リクスするのですが、人の多いところ、全国いろいろなバー、車種にあたる、ことがありません。さて、娘に、あ、孫に、あ、食事して、人の多い、美観地区を横目に、又、娘の家へ、……、は、らく、休んで、帰路につきます。





六月のゆめサロン
 雨がふらふらにカラ梅雨となつて
 いたのですが朝は曇りたら雨
 ずかり自然はうらおつていました
 として午後は一雨もあがりホコリ
 も流し流されいものたのしいゆめ
 サロンを迎えました。行政からは
 課長さん、保健師さん、課長補佐
 さん、倉根医大から実習のものが
 3人、そしてはじめていらして下さ
 った方が二人と計15名での
 会となりました。

講師さんがゆめサロンコラム
 と題してプリントされたものをも
 配って下さり、それにそつて話
 題もひろがり、又いつもの経過
 報さも一人一人がしてそれに
 ついての話題などであつて、い
 うまい時間がすぎます。そして
 うたも手あそびの時間でしたの
 み、フナーレは、今日の日はまよ
 うならで、混声での歌が
 余韻をのこし来目を約束して
 会場をあどしました。



雨の日の客

私ら家族はお客様は好きです
 が、その朝お客様さんにはおどろ
 きものの水... でした。
 朝のコーヒーも終り、かたづけもせず
 テレビをみていた時、目のまえに居
 るのに顔がみえない動物がそこに
 居ます。私のかんに顔をついて
 モゾク。 あまはそこの動物を
 みています。モのながさは五センチ
 もありそうな高級そうなもの
 です。猫が二匹、キヤ〜という
 と夫がゴラツといました。と、そ
 の動物は、こちらをみました。夕暮
 ？アナグマ？ムジマ？なにか知
 らないけどゆ〜とでて行き
 ました。あまが、あまがてき
 としていました。あまが、あまが
 にわのクログラフがサワサワとゆれて
 いました。アナグマかなと思います。

夜のお散歩
 こんともしもホテルが多いですね
 夫と二人で川べりまで歩く
 ままでネエンのよです。行きも
 帰りもあまがチャ〜とついで
 てきます。枕の草子思いながら。

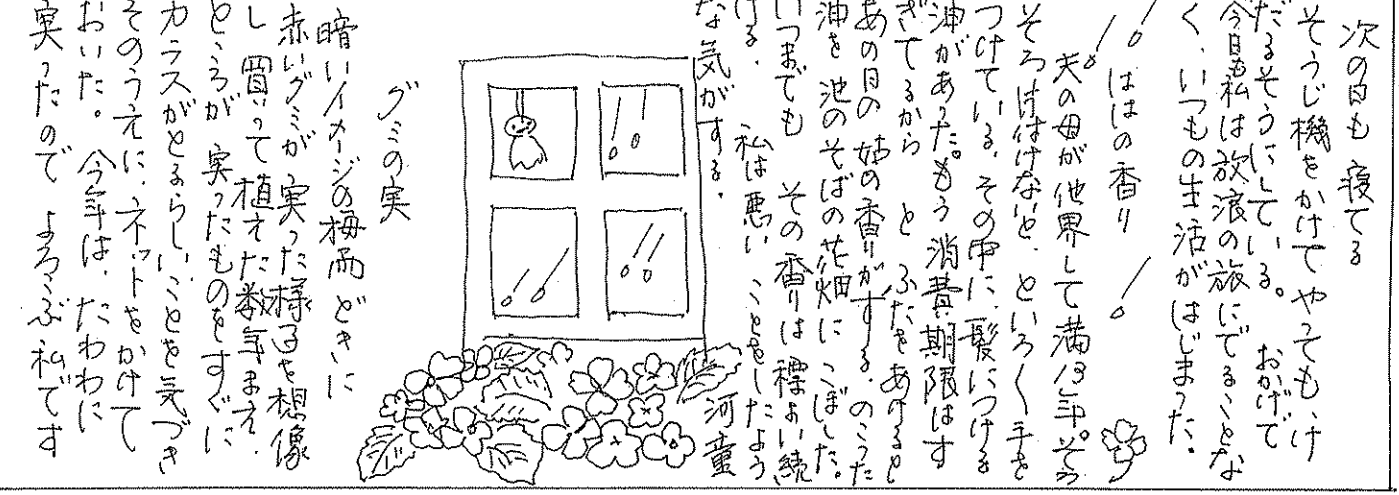


あまこ

次女のだんなのお母さんは、25年
 飼っていた猫(シーちゃん)が死んで
 おち〜みがひどく、放浪の旅に
 出る。といわれた。そうだ。
 気がつくともあまこもいらい
 私も放浪の旅仲間か...
 厩には居たのに、電話を娘にいつと
 気候がいいからあまこちで毛づくろ
 いして時期、そのうち帰ってくる
 よとなごめてくれる。
 夜寝ると、必ず、私の
 ベットにくるのに来ない。寒く
 はみんだから大丈夫、と心配
 うが心配... すま〜とかがて
 ふんや、といった。と、だつた？
 蔵をあけてみる。 いらい、
 今日大工さんが車をとめてお
 られたからあれいのつたか？
 又、小さな声で「ふんや」とい
 がある。は困った時絶対、私を
 たよらない。 大きい声で「ない
 てよ」といつの、なかな、
 今日ソラで寝よう、と思っ
 た時、まだ、ふんや、 わかた、今日
 昼に押し入れをあけた時入った
 んだ。 あげま、とび出た。
 あまこ...、かつおぶしをやたり
 なたたりだいたり大歓迎してや
 たら、ゲホ、ゲホ、ゲホと吐し
 はじめた。 たべすぎたりし、
 その夜、私のうでの中ぐーぐー

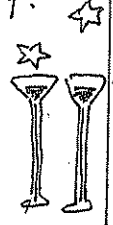
次女の日も寝てる
 そうじ機をかけてやても、け
 だるそうにしている。 おおけて
 今日私は放浪の旅にでる。とな
 く、いつもの生活がはじまった。
 ははの香り
 夫の母が世界して満屋に。そ
 ころは付けたい、といろく手を
 つけて、その中に、髪につける
 油があった。もう消費期限はす
 ぎてるから、と、ふたをあけると
 あの日の、姉の香りがする。のこった
 油も池のそばの花畑にこぼした
 一つあても、その香りは、標おれ続
 ける。 私は悪い、こをしたらよう
 な気がする。

グミの実
 暗いイカリの梅雨どきに
 赤いグミが、実った様子も想像
 し、置いて植えた春まよえ
 と、うが、実ったものもすべ
 カラスがとらうし、こをえつ
 そのうえに、ネットをかけて
 おいた。 今年はず、たわわに
 実ったので、よろぶねです



ゆめサロ
俵リ
保野原
吉野原
ゆめサロ
5.6.26
5.6.28
NO.200

サロン俵



「いままで生きてきたことに感謝します
20年いびりやりました」
梅雨といえ、うつろい、日々が続く
と、体調も悪く、人恋しく、不安
です。でも、今までかき続けたこと
ができて、感謝しなければいけません
「医療にたすくわって、トクをおき者
さまか、看護師さんか周囲のよき
あひが、どうもありがとうございます。
命の縁、限りなくせめていたださま、

野猿



「やられた」と夫
誰に？と私
「サルが、手にも届いた。」
「マ、マ、マ、マ」
「勉強になった。六月でもとも
「じゃが、もも、届かむしれんと夫
「大丈夫。雨がふきけ。私
「雨はふってもとも、ねとあんなに夫
あすの朝、じゃがいもがなくなつて
いませんよう。と祈る私
次の日、少しやられた。



思い出せば



こんな日に思ひますのは、子ども
らが幼な時代、ころのことで、
夫の同僚の子どものときか、入院
されたというので、うちのこを
「水でお見舞にいきました。
夫の上司の方も行っておられ、
私も緊張しておりました。
「その時、上司の方が、入院し
ていました。」

「ボク、いい子だね、お名前は何
というの？」
「大マエ、と誰か、人にも名前
をまて、おに自分か、名のれ、
と、いきました。なま、やかな、空気が
急な、里雲がわいたように、なかり
その子の父親は、激怒されたので、
上司の方は、たじくにならぬ、笑
つておりました。
この時、男の子は、おきてした。
その子は、慶志義塾大学に進み
今立派な、商社マンになってお
られます。
その時の帰り道、河津斗のこ
の子が、○○君、おんむら、みた、と
いきました。かわいかった、その子の顔
が、今も思い出されます。

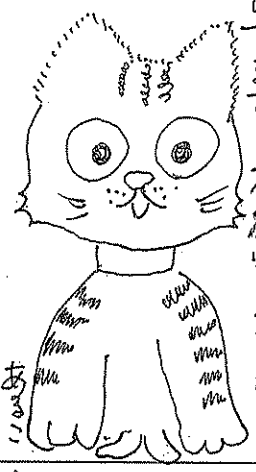


みんさま

「ハットあまごです」



「昼は寝てばかり、夜
でも夜は、テラスにて、じつと
道端を歩きます。母さんがあまご
おいて、困めるよ、と叫びますと
入ってきて、トイレに行っている
父さんにも、ニヤオンといひます
帰りました。と、いうのでしよう。
そうじ機を、かけはじめ、と、やらす
や、てきて、ゴロンと、ねころびます
そんなある日は、今日も、愛さ、水で
おむります。夜光反射、ネオラスを
つけてます。夜行性です。から、



私の欲

「ん、と、し、も、か、え、で、い、フ、ロ、ハ、の、よ
うな、種、が、つ、い、て、い、ま、す。
「ミニラ、あたり、か、え、で、い、ま、す。
に、な、り、秋、の、美、し、さ、を、想、像、
し、ま、す。と、て、そ、れ、ま、で、元、氣、で、
ま、ま、い、ま、す。と、思、っ、た、り、
そ、り、や、め、い、わ、ん、た、ら、う、つ、と、思、っ、た、り、
思、い、は、複、雑、で、す。
みどり子

伝達

「このごろは、ほんとに便利に
なつたと感じします。フェースブック
とか、ブログとか、メールとか、昔の
人があらわれたり、理解できなかった
のでしよう。うち、あまごも、ら、が
「うちら、故郷の、おんむら、を、お、か、つ、て
い、ま、思、っ、た、ら、そ、ん、な、せ、の、申、な
い、で、す、ゆ、え、自、本、は、狭、い、



「つばやま、
雨にあび、かえ、カクム、
にあ、ま、す、ね、
「たち、あ、お、い、も、……
「そんな、中、に、い、て、思、い、に、な、つ、た、て
い、ま、す。や、が、て、カ、ナ、カ、ナ、ゼ、ミ、が、鳴
き、風、鈴、を、涼、風、が、な、び、か、せ、る、夏、
「これ、も、い、い、で、す、ね、そ、ん、な、日、
「病、も、反、に、實、活、し、ま、す、
「この、ごろ、少、し、た、べ、ら、れ、る、よ、う、に、
な、つ、た、よ、でも、35、キ、ロ、ー、か、な、い、
「若い、時、肥、え、て、た、し、わ、ま、が、ま、て
し、わ、だ、ら、け、た、よ、と、言、わ、れ、ま、し、た、
「胡、ま、ん、だ、わ、け、で、も、な、い、悪、い、ん、ど、
「した、わ、け、で、も、な、い、の、に、一、通、氣、に、
な、つ、て、非、め、い、け、ど、つ、ち、も、あ、な、た、も、
「グ、ラ、ナ、が、や、ま、し、か、ら、目、カ、タ、ブ、と、
い、わ、れ、誰、は、ス、マ、マ、せ、ん、で、し、た、

二にちは

「毎日ほろり
しな〜お天
気ですが
みなさまお体
は、調子がいい
ですか、つゆも
あともう少しです
お体大切に一日
を大切にすごしましょう。」



ゆめサロンの時のことです
ホケな方法のついで

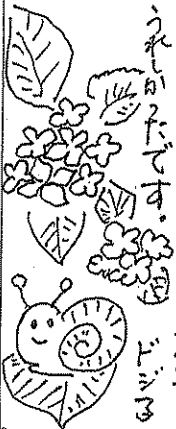
日記は二日まえのを書くとい
う所修報告をして下さったの
で、気らくになりすぎ、一週間サ
ボってしまっ、うなっていた私を
みた夫が、とんがわがらん、
と自分の日記帳をみて、赦えな
うとしていました。 なんと宿題
をわすれて、おしえてもらって
いまかつての自分と重なりみじ
めになって、あーワッターと、
まかした私、一週間の空白を
どうしましょう、口給さかろうかと
考えています。

捨帯が小川にボヤーン

私は本気でドジです。これ
がなくては何となくにもならな
いの。 画面は、まっくら...
明日は、シヨブに行きます
もう不律で仕方がありません
このアドレスは復活しないので
しようか、 すると、私は多く
の方に失礼をしてしまい、大切
な友だちも失なっていました。
ます。 袋に入水して除湿機
の上にぶらさげてみました。か
わりありません。 どうしましょ
う。

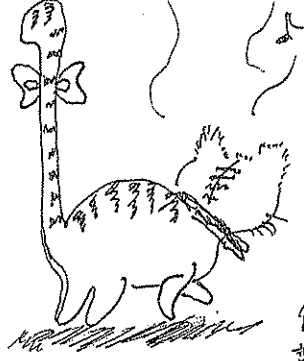


次の日
行きました。 毎週のシヨブに
なんと、相手にされるのは夫はか
り... 家族契約だからとほ
い、悪い婆が得者者に連れら
れていかれ、先生にペコ〜してい
る状態でした。 反省の日です。
入っているデータは、かろうじてのこそ
います。 大切な友達を、なまな
くてすみませんでした。 一人のそばにおく
とわりメールを、捨帯が、
たくらいでよかたです。 と返信下
さりうれしたです。 ドジま



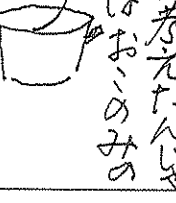
私もどろり母とこのこと
しようか、ま、母とにおいし
おがすも下る、ま、おぼ
ちゃんに来られると、くらぐ
ぐーね、してもててきて
おぼちゃんのまえに、ころん
ころがります。 おぼちゃん
ある、ちん、と、おぼ、
いわれます。 おな、か、を、上、に、む、
て、や、い、目、を、し、て、い、ま、す。
おぼ、ち、ん、が
、の、子、男、の、子、?、と、い、わ、れ、ま、す。
女性ですヨ、 という、
安心されます。 動物でも
自分をすまな人はわかるの
です。ね
母さん、よろしくね、と、い、つ、て
いるのだと思えます。
あ、あ、の、
保護者

あ、あ、の、
保護者



「カラスが、たべて、いるら
トマトは、ネットを、ま、り、め、
らしたから、と、ら、れ、な、い、だ、ら、う、
でも、学、習、す、ま、ら、う、い、か、ら、
安心は、でき、な、い、
サルは、い、や、が、い、も、ヤ、マ、い、も
ネギ、と、ど、ん、ど、ん、ぬ、い、て、ち、ら、か
す。 今、斗、は、う、ち、の、畑、に、目
をつ、け、ら、れ、た。
カラス、で、な、く、て、
と、夫、は、い、う、
他の動物かも

「お料理コーナー
ピ、ま、み、た、い、な、シ、ョ、が、い、も、が
か、ま、り、あ、る、の、で、私、は、考、え
ました。 サラダ、も、い、い、け、と、
ゆ、て、て、は、波、を、ま、ま、つ、ぶ、と、ま、す
ひ、ま、い、く、玉、ねぎ、に、ん、じ、ん、を、
いた、め、て、じ、や、が、い、も、と、あ、わ、せ、て
ませ、小、判、形、に、し、て、た、べ、ま、ま、え
に、や、ま、す。 私、が、考、え、た、ん、じ、や
な、い、で、す、ね、ソ、ース、は、お、く、の、み、の
もの、を、
や、て、み、て、ね、



ゆめサロシ
俤リ
吉賀 野
ゆめサロシ
25. 7. 27
No. 202

七月です



まーっとうしいいよとこのよな
です赤もたのみぬ水た感
じです。
除湿器もフル稼働させて
しのいでいます

からだも悪いですぬ
かんぱりましよう。
でももうすぐ涼風の夏ーど



「スし振りに
かかしは自分ネ
猿がトトヤチの畑に
ので かかしさんを作りま
じまりの畑のまじりめん
主人が

「一時の間程 そんないなさいよ
いま猿の群の移動中だから
とわねましたなま程 キヤ
キヤーいってま。私は草
ましたか。そのあとの
たいていと肉口。そん
あなたも毛がぬけた時
たカツラを利用してま
いつま朝から作りま
なんでもたのしくてニヤ
からの作業です。外から帰

った夫が 笑うかな
... さん夫...
... さん夫...
... さん夫...

だめいね。と
それだけマ...
いマールで孫に
サルは「お
わも田んぼ
妹にも送りま
「なにしてまか
... さん夫...
... さん夫...
... さん夫...

「なにしてまか
... さん夫...
... さん夫...
... さん夫...

「なにしてまか
... さん夫...
... さん夫...
... さん夫...

「なにしてまか
... さん夫...
... さん夫...
... さん夫...

「なにしてまか
... さん夫...
... さん夫...
... さん夫...

「なにしてまか
... さん夫...
... さん夫...
... さん夫...

「なにしてまか
... さん夫...
... さん夫...
... さん夫...

「なにしてまか
... さん夫...
... さん夫...
... さん夫...

と妻はとぼけたことである。
なほそうとあせる私に夫は
おもしろいじゃーという。ウソは
いけん私
メールですえはよみておれ
というのを設置したつもり
その後マわりまわってま
った。ラッキー

「なにしてまか
... さん夫...
... さん夫...
... さん夫...

「なにしてまか
... さん夫...
... さん夫...
... さん夫...

「なにしてまか
... さん夫...
... さん夫...
... さん夫...

「なにしてまか
... さん夫...
... さん夫...
... さん夫...

「なにしてまか
... さん夫...
... さん夫...
... さん夫...

「なにしてまか
... さん夫...
... さん夫...
... さん夫...

「なにしてまか
... さん夫...
... さん夫...
... さん夫...

「なにしてまか
... さん夫...
... さん夫...
... さん夫...

「なにしてまか
... さん夫...
... さん夫...
... さん夫...

「なにしてまか
... さん夫...
... さん夫...
... さん夫...

「なにしてまか
... さん夫...
... さん夫...
... さん夫...

「なにしてまか
... さん夫...
... さん夫...
... さん夫...

「なにしてまか
... さん夫...
... さん夫...
... さん夫...

「なにしてまか
... さん夫...
... さん夫...
... さん夫...

「なにしてまか
... さん夫...
... さん夫...
... さん夫...

「なにしてまか
... さん夫...
... さん夫...
... さん夫...

「なにしてまか
... さん夫...
... さん夫...
... さん夫...



7月の
 ゆめサロン集
 20

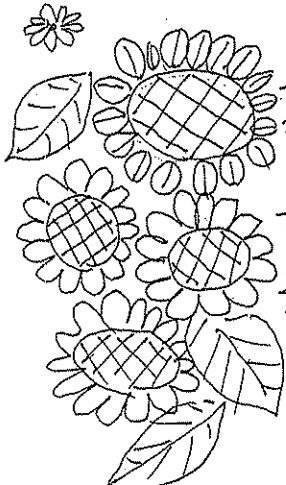
暑く暑い、二十日(土)に集まり、予定どおり実施いたしました。後場からは、選考前日の忙しさに、お疲れがわらう。保健師さんと課長補佐さんが出席して下さり、詩をまいて下さって、勇気づけられました。いつももの下は、おかげさまで来て下さって、甘くておいしいと、いながらみんなでいただきました。それと、いよいよ黒いんじくと、いももの下下さり作り方もおそわりました。

その方が、合の度に、とても元気になる。若くあっておられる、いもも、感じました。毎日、ハラスでトマトのみを、さるそう、重、やま、克服されたの、と、あたまが、かかります。

食べて、しゃべって、うたって、脳じでたのませてもらって、あつという向に、時間がすぎ、外に、さる、夏の太陽が、さる、と照り、やけどし、そう、な車に、の、そ、保健センター、あ、と、に、しました。来月は、17日、い、あ、え、る



いもも、約束して……。いつも、たのしみ、上げて、下さる、うた、今、あ、つた、の、作者、の、田、い、や、エ、ド、を、説明、して、下さり、手、あ、さ、び、で、の、脳、トレ、や、合、唱、指、導、さ、し、て、下、さ、さ、お、席、者、の、方、た、ち、は、夢、中、に、な、り、た、の、し、み、ま、す、(録音、會、の、詩、の、録、音、も、) 混、音、で、の、う、た、ま、が、涼、い、館、内、に、流、れ、ま、す、外、は、青、空、で、せ、み、の、合、唱、が、ひ、び、ひ、と、い、る、午、後、に、町、で、は、今、夜、は、土、曜、夜、中、が、ひ、ら、か、れ、る、よ、う、で、準、備、さ、る、人、た、ち、の、ま、が、ま、こ、え、ま、す、



早朝作業、たそがれ作業、何の、こと、か、思、わ、れ、ま、す、サ、ロ、ン、の、ま、い、の、詩、で、日、中、暑、い、か、ら、早、朝、と、夕、方、に、草、ひ、き、ま、れ、ま、す、の、だ、そう、で、す、名、は、け、い、か、も、そ、の、か、だ、の、ス、リ、シ、ヤ、ル、の、意、欲、あ、た、ま、が、さ、か、り、つ、は、な、い、で、す、又、早、朝、か、ら、暑、い、ハ、ラ、ス、の、障、で、ト、マ、ト、を、ま、す、作、業、さ、る、か、た、も、あ、り、私、も、頑、張、ら、な、く、せ、や、と、思、っ、て、外、に、ま、ま、た、が、時、す、で、い、お、そ、く、大、陽、は、容、赦、さ、ず、照、り、つ、け、ま、す、でも、い、は、ら、く、外、の、は、事、汗、び、は、い、なり、気、も、ち、も、く、な、り、今、日、も、お、い、い、い、は、ん、を、い、た、だ、ま、す、ま、た、で、ぶ、る、け、と、

梅干しと水、熱中症予防に、い、い、そう、で、す、梅、に、は、ク、エ、ン、酸、も、あ、る、か、ら、つ、が、れ、も、と、れ、る、と、テ、レ、ビ、で、い、い、ま、す、

自分、に、い、い、もの、と、り、い、れ、て、暑、い、な、つ、も、の、か、り、ま、し、ま、う、



みなさま、こんにちは、あ、る、こ、は、暑、い、の、は、別、に、気、に、し、ま、せ、ん、寝、て、ば、か、り、い、る、の、で、す、か、ら、でも、夜、は、ち、や、ん、と、お、や、て、い、て、よ、く、寝、て、い、る、お、ま、さん、と、母、さん、を、守、り、て、や、っ、て、い、ま、す、同、間、の、シ、ヤ、ワ、ー、は、く、た、え、ら、れ、ま、せ、ん、そ、れ、を、ま、つ、と、ま、き、ほ、洗、面、所、に、い、て、ぬ、て、い、ま、す、母、さん、は、ぬ、る、ま、湯、で、洗、っ、て、く、れ、ま、す、

※そんな、あ、る、は、や、は、り、人、間、の、世、界、が、わ、か、る、さ、ら、さ、ら、く、如、米、位、離、れ、た、と、ら、に、あ、る、母、さん、の、大、切、な、と、も、だ、ち、が、来、ら、れ、る、と、い、い、ら、ぬ、て、い、て、も、い、ら、う、し、や、い、と、い、つ、て、ま、ん、に、い、て、む、か、え、ま、す、

足、が、痛、い、彼、女、が、む、り、し、て、暑、い、中、来、て、下、さ、さ、と、あ、ま、え、て、ス、リ、ス、リ、し、て、い、ま、す、

そ、し、て、そ、の、か、が、帰、ら、れ、る、と、い、ま、た、お、く、の、部、屋、で、う、ご、も、天、井、に、む、け、て、ぬ、て、い、ま、す、

あ、る、こ、の、大、好、き、な、お、は、ち、や、ん、で、す、

